

参考資料：岡山縣上道郡古都村史、現代古都の郷、ふるさと古都  
岡山史蹟めぐり（岡山市立西大寺公民館古都分館）、岡山市の地名

## 往来神社（ゆききじんじゃ） 六甘字久那止山

備前国総社神名帳に記載してある備前国式内外社百二十八社の1つにあげられ、正三位往来の明神と記せられている。

S23年2月26日災上し、翌年本殿を再建した。

石鳥居は延徳3年（1492）8月建立の銘があり、わずかに判読することができる。室町時代に作られている。  
この近隣で最古の石鳥居であり岡山県下でも古さからいうと3、4位に当たると考えられている。

往来神社の奥の院、末社砂山神社は俗称お砂黒様といわれ女の神様として村内のみでなく近隣から女の人々の参詣者が多い。  
おかげをうけた者は御礼として布で作った乳を奉納する週刊となっている。尚砂山神社は円墳の南面に建てられている。

平成2年に岡山県指定重要文化財となった往来神社の明神鳥居は、香川県豊島産の凝灰岩で造られたものである。

柱には、「延徳2年8月吉日」と刻まれており、造立時代の分かる豊島石の鳥居として県下で最も古いものである。

また、「往来社」と刻まれた額も当時のものである。